

子ども音楽新聞

2010年10月

第16刊

Nikolaus Harnoncourt & CMW

伝説のマエストロ

アーノンクール 公開リハーサル 開催!

※公開リハーサルのお申し込み受付は、終了しました。

文・柴田克彦

アーノンクール、いよいよ来日!

今年81歳の指揮者アーノンクールが、この秋、長年率いていたウィーン・コンツェントウス・ムジクス(CMW)と共に最後の日本公演を行います。そこでなんとユースのための公開リハーサルが実現することになりました。これは大人がうらやむ大ニュースです。曲目は、手兵のCMWとは日本で初の演奏となるモーツァルトの管弦楽曲。彼の革新的な音

楽作りの秘密を知る、最初で最後のチャンスであり、その貴重な言葉はひと言も聞きませません。



© Sony Classical-Masterworks

アーノンクールはこんな人!

アーノンクールは、1929年に生まれたオーストリアの指揮者です。ウィーン音楽院を卒業後、1952年から1969年までウィーン交響楽団のチエロ奏者をつとめるかたわら、古楽や古楽器の研究・収集に力を注ぎ、1953年、



古楽器によるオーケストラ、ウィーン・コンツェントウス・ムジクスを結成。以後、半世紀以上もこの分野をリードしています。いつぼうで1970年代からは、チューリヒ歌劇場を中心にオペラの指揮も始め、やがてウィーン・フィルやベルリン・フィルといった一流オーケストラにも登場。一般のオーケストラ指揮者としても、頂点に立つ存在となっています。アーノンクールのすごさはまず、古楽器演奏がまだ珍しかった時期に挑戦し、演奏会や録音を積極的に行ったこ

と。古楽器演奏は、彼に続く多数の演奏家たちによってブームを呼び、今や当たり前のものとなりました。また、古楽器の演奏法を、モダン楽器(現代の楽器)の世界に持ち込んだのも大きな功績。これも今では、多くの演奏家に取り入れられています。

そして何より、いつも新鮮で生き生きとした音楽を聴かせてくれること。だからこそ、古楽演奏のパイオニアとなり、さらにそれをこえる巨匠となったのです。



© Nikolaus Harnoncourt

古楽器で演奏するって...とは?

古楽器演奏とは、作曲家が生きていた時代の楽器(またはそれをコピーした楽器)と演奏方法を用いて、作曲家自身がイメージし、聴いたであろう響きを再現すること。

19世紀には、それまで宮廷や貴族の館などが中心だった演奏会場が、広いホールへと移りました。同時に、管楽器は大幅に改良されて種類や人数が増え、弦楽器も対抗するために改造され、人数を増していきました。

た。これらをバロック、古典派など古い時代の編成や楽器に戻したのが古楽器演奏です。

古楽器(別名ピリオド楽器。この呼び名では、より時代に忠実なニアンスが増します)の場合、弦楽器は、本体も弓も今とは形が違い、羊の腸から作ったガット弦を張ったヴァイオリンやエンド・ピンのないチェロが用いられ、管楽器は、キーやバルブのない(もしくは少ない)シンプルな構造になっています。

また、ピッチII音の高さと弾き方にも違いがあります。ピッチは、大ホールで華やかに鳴らすために高くなった今より半音ほど低く、音をこまかく揺らすヴィブラートがあまり使用されません。このほか研究によって、音の長さや切り方などにも作曲当時のスタイルが取り入れられています。さてどんな音がするのか? 会場で確かめてみましょう。

古楽器と現代の楽器、かたちの違いを比べてみよう



■ クラリネット ■



古楽器

現代の楽器



■ ホルン ■



古楽器



現代の楽器

■ オーボエ ■



古楽器



現代の楽器

© Buffet Crampon Ltd. / © YAMAHA MUSIC TRADING CORPORATION

■ 公開リハーサルのお申し込み受付は、終了しました ■

革新的な音楽作りで世界に衝撃と発見を与えてきたアーノンクール。その演奏の秘密を公開リハーサルで観る・聴く・知る!

伝説のマエストロ Nikolaus Harnoncourt & CMW

アーノンクール 公開リハーサル

東京オペラシティ コンサートホール

11/1 月 17:00 (約90分) 無料・全席指定 申込締切: 9/30

ニコラウス・アーノンクール&ウィーン・コンツェントウス・ムジクス日本公演 [お問い合わせ先: カジモトイープラス Tel: 0570-06-9960 *10/24 公演のみ NHK プロモーション Tel: 03-3468-7736]

*詳細はKAJIMOTOまで <http://www.kajimotomusic.com/>

●バッハ: ミサ曲短調 10/24 (日) 18:00 開演 NHK ホール (NHK 音楽祭) / 10/26 (火) 19:00 開演 サントリーホール

●ハイドン: オラトリオ「天地創造」 10/29 (金) 19:00 開演 / 10/30 (土) 18:00 開演 サントリーホール (●バッハ&●ハイドン 共演: 声楽ソリスト、アーノルト・シェーンベルク合唱団)

●モーツァルト: 交響曲第35番「ハフナー」&セレナード第9番「ポストホルン」 11/2 (火) 19:00 開演 / 11/3 (水・祝) 18:00 開演 東京オペラシティ コンサートホール: タケミツメモリアル

SIMÓN BOLÍVAR BRASS QUINTET

シモン・ボリバル・ブラス・クインテット
クリスマス・コンサート開催!

文楽田克彦

クリスマスを熱くする!? 金管五重奏団がやってくる!

いま世界で話題のシモン・ボリバル・ユース・オーケストラ・オブ・ベネズエラ(SBYOV)から生まれた金管五重奏団、シモン・ボリバル・ブラス・クインテットが、注目の公演を行います。
天才トランペッター、フローレス率いる彼らは、ベネズエラの「エル・システマ」による全国からの選抜隊SBYOVの創設メンバーたち。ザルツブルク音楽祭などにも出演し、高い評価を受けています。



ホルン：ラファエル・パイヤーレ
トロンボーン：ペドロ・カレロ

トランペット：フランシスコ・フローレス
チューバ：レスビー・パントーヤ
トランペット：ジャンカルロ・カストロ

楽しいプログラムが並ぶ熱いステージをお楽しみください。

「エル・システマ」
ベネズエラで行われている驚きの教育活動とは?



ベネズエラは、南アメリカ大陸北部のカリブ海に面した、自然豊かな国。首都はカラカスに置かれ、19世紀前半にスペインからの独立を果たしました。主な産業は石油や鉱物資源。またアメリカ・メジャーリーグに多くの野球選手を送り込んでいます。

貧富の差が激しいこの国で、1975年、経済学者ホセ・アントニオ・アブレオのリードにより始められたのが「エル・システマ」(英語でいえば「ザ・システム」)です。これは、放課後の子供たちに楽器の演奏を教え、犯罪から守り、非行から立ち直らせるという、音楽を通じた国をあげての社会教育活動。楽器の貸し出しやレッスンは無料でなされ、賛同したベルリン・フィルの楽員も指導に訪れました。その結果200以上の青少年オーケストラが生まれ、音楽と共に

に生活のレベルも上がるなど、試みは大成功。世界の注目を集めています。
その選抜メンバーによるシモン・ボリバル・ユース・オーケストラ(シモン・ボリバルは、同国独立の際の英雄)は、この教育を受けた指揮者トウダメルが実力を引き上げ、有名なラトルやアバドも指揮するなど、今や世界的な存在。日本でも、NHKで放映された2008年来日公演やドキュメント番組で大評判を呼びました。

次号予告

子ども音楽新聞 第17刊
11月中旬発刊予定

特報!

シモン・ボリバル・ブラス・クインテットのリーダー、フランシスコ・フローレス(トランペット)が、目黒区立東山小学校を訪問!!



フローレスの笑顔のわけとは!?

ユース(1985年4月2日以降生まれの方)対象。小中学生の保護者(同伴者)も入場可
詳細はwebで!! (<http://www.smf.or.jp/>)

ラテンのリズムとメロディが日本のクリスマスを熱くする!!

12/23 木・祝 14:00 (約90分)
東京オペラシティ コンサートホール
ユースS席¥2,000 / A席¥1,500 団体割引あり
小・中学生の保護者(同伴者)S席¥3,000 / A席¥2,500
【イープラス】eplus.jp / 【チケットぴあ】0570-02-9999 (Pコード: 116-521) t.pia.jp

シモン・ボリバル・ブラス・クインテット
クリスマス コンサート
SIMÓN BOLÍVAR BRASS QUINTET

気になる曲目はこちら!

パッサ/主よ人の望みの喜びよ、V. エヴァルド/金管五重奏曲 Op. 3、E. クレスポ/組曲「アメリカーナ」第1番、M. d. ファリャ/バレエ「三角帽子」より、G. M. ロドリゲス/ラ・クンパルシータ、A. C. ジョビン/イパネマの娘、ベネズエラのトラディショナル、クリスマス・メドレー 他 (※曲目は変更になる場合がございます)
*目黒区立東山小学校特設管弦楽クラブ&東山オーケストラとの共演を予定しています。